令和6年度 分別収集物べール品質調査結果概要

1. 調査概要

- (1) 調査期間:令和6年4月～令和7年3月下旬(上期:83件 下期:90件)
- (2) 調査回数:上期(4～9月)から引き渡しを開始した保管施設は年間2回(上期・下期)実施
下期(10月～3月)から引き渡しを開始した保管施設は年間1回(下期のみ)実施
- (3) 調査場所:再生処理事業者工場内
- (4) 調査方法及び評価:「分別収集物のべールの評価方法」による調査方法、評価
- (5) 調査対象保管施設数及び構成市町村数、実施保管施設数及び実施構成市町村数

表1) 令和6年度調査対象保管施設数(構成市町村数)と調査実施保管施設数(構成市町村数)

年度	調査対象 保管施設数	調査対象 構成市町村 数	実施保管 施設数	実施保管 施設 カバー率	実施構成 市町村数	実施構成 市町村 カバー率
R6 年度上期	83	131	83	100.0%	131	100.0%
R6 年度下期	90		90	100.0%		100.0%
R6 年度合計	173	131	173	100.0%	131	100.0%

以降は年間合計の実施保管施設数 173 件の品質調査結果を報告する

- (5) 市町村・一部事務組合担当者立会件数

表2) 市町村担当者の調査立会比率

	実施保管施設数	立会実施した 保管施設数	立会比率 (%)
R6 年度	173	111	64.2%

2. 評価概要

(1) 「破袋度」評価

各市町村等の中間処理施設で収集袋を破袋し、異物を除去することは、その後のリサイクル工程の安全と効率化のために重要な項目である。

(評価方法)

床に広げた状態の 60kg～80kg(総重量を測定)のサンプルを評価する。

- a. 収集袋が破袋されずにペール化されている状態を見る。
- b. 未破袋の数量を数える。数を評価対象重量で割り込んだ個数/kgを測定する。

(評価点数)

A ランク=殆ど破袋されている(基準:0.2 個未満/kg)

B ランク=少し破袋されていない袋が見られる(基準:0.2 個以上 0.4 個未満/kg)

D ランク=破袋されていない袋がかなり目立つ(基準:0.4 個以上/kg)

表 3) 破袋度

		A ランク	B ランク	D ランク	評価計
R6 年度	評価数	156	13	4	173
	率	90.2%	7.5%	2.3%	100.0%
R5 年度	評価数	56	7	3	66
	率	84.8%	10.6%	4.5%	100.0%

(2) 「適合分別収集物の比率評価」の評価と判定

適合分別収集物の比率評価は、分別収集物の再商品化率を左右する非常に重要な項目である。協会では、品質改善の最重点項目として改善に取り組んでいる。

(評価方法)

床に広げた状態の 60kg～80kg(総重量を測定)のサンプルを評価する。

- a. 分別収集物以外の異物を取り出し、その重量を測定する。
- b. 評価対象重量から異物の総重量を差し引き、適合分別収集物の重量を算出する。

<異物区分>

- ・原材料の全部又は大部分がプラスチックでない製品プラ
- ・汚れの付着したプラスチック製容器包装、製品プラ
- ・容り法でPETボトルに分類されるPETボトル
- ・他素材の容器包装

- ・一辺が 50cm 以上の「原材料の全部又は大部分がプラスチックである製品プラ
- ・分別収集物の再商品化の過程において火災を生ずるおそれのあるもの
- ・再商品化を著しく阻害するおそれのあるもの
- ・産廃プラ(産廃プラの申込みがある市町村は、産廃プラは異物に含まれない。)
- ・プラスチック副産物
- ・その他

(判定基準)

容器包装比率により以下のランクとなる

A ランク:90%以上

B ランク:85%以上、90%未満

D ランク:85%未満

表 4) 適合分別収集物の比率評価

		A ランク	B ランク	D ランク	評価計
R6 年度	評価数	168	2	3	173
	率	97.1%	1.2%	1.7%	100.0%
R5 年度	評価数	63	3	0	66
	率	95.5%	4.5%	0.0%	100.0%

(3) 「禁忌品」の評価と判定

引き取りバールからの医療系廃棄物と危険品のいずれかの混入の度合いを評価する。

(評価方法)

床に広げた状態の 60kg~80kg(総重量を測定)のサンプル中に「医療系廃棄物」および「危険品」に該当するものが混入しているか評価する。

- 該当物が混入の場合は、品名と数量を記録する。

(判定基準)

「医療系廃棄物」「危険品」の混入がなければ A ランク、いずれかあれば D ランク

表 5) 禁忌品の評価

		A ランク	D ランク	計
R6 年度	評価数	62	111	173
	率	35.8%	64.2%	100.0%
R5 年度	評価数	21	45	66
	率	31.8%	68.2%	100.0%

(4) 「医療系廃棄物」と「危険品」の混入

表 6) 「医療系廃棄物」と「危険品」の混入

混入の有無		無	有	合計
リチウムイオン蓄電池及びリチウムイオン電池を使用した製品	評価数	166	7	173
	率(R6 年度)	96.0%	4.0%	100.0%
上記以外の火災のおそれのあるもの	評価数	137	36	173
	率(R6 年度)	79.2%	20.8%	100.0%
医療系廃棄物	評価数	132	41	173
	率(R6 年度)	76.3	23.7	100.0%
刃物等	評価数	97	76	173
	率(R6 年度)	56.1%	43.9%	100.0%